

## ■設置に関するご注意

- 据付基準を守って据え付けてください。
- 貯湯ユニットの設置場所からお湯を使用する場所までの配管長は、できるだけ短くしてください。配管長が長いほど、じゃ口を開いてから設定温度のお湯が出るまでの時間が長くなります。
- 長期保管は平らな場所で縦置きのこと。
- ヒートポンプユニットは通気性が良い場所や強い風の当たらない場所に据え付けてください。
- ヒートポンプユニットは運転音や冷風が隣の家などの迷惑にならない所へ据え付けてください。また、外気温が低い時は、運転音が大きくなります。(特に隣家との境界線では、環境基本法第16条の規定に基づく騒音に係る環境基準及び都道府県の条例などを満たすこと)運転音に関する注意事項については、「騒音等防止を考えた家庭用ヒートポンプ給湯機の据付けガイドブック」  
[https://www.jraia.or.jp/product/heatpump/t\\_guide.html](https://www.jraia.or.jp/product/heatpump/t_guide.html) をご参照ください。
- ヒートポンプユニットはテレビ、無線機等のアンテナより3m以上離してください。
- 本体設置面は水平かつ水はけ良く施工してください。
- 積雪地区に設置する場合は、貯湯ユニットは小屋がけをして雪がかかるのを防いでください。また、ヒートポンプユニットは架台の上に据え付け、雪が空気吸込口・吹出口から入らないように防雪カバーを取付けるなど、小屋がけをするか雪が積もらないよう防雪屋根をつけてください。着雪防止制御により、沸き上げ運転をしていない場合でも室外機の送風ファンが回転することがあります。
- ふろ配管は複数の浴そうには接続できません。
- 本体1台に浴室リモコン1台、台所リモコン1台を接続します。サブリモコン(別売)は1台取付可能です。給湯専用タイプの場合、浴室リモコンは別売品です。また、サブリモコンは接続できません。
- 家庭用給湯機ですので船舶、車両へは取付けないでください。又、特殊用途(飼育物用等)には使用しないでください。
- 貯湯ユニットを屋内設置する場合は、以下の点を厳守してください。
  - ・上下部に通気口を設け、密閉室にしない。
  - ・水が流出しても、防水、排水ができる所。
- 台所リモコンは、電子レンジなどの電波を発生する機器、テレビなどの電化製品に近い所(上下左右20cm以内)には、設置しないでください。
- 台所リモコンは、金属製の壁には設置しないでください。
- 配線を途中で接続しない。電源コードを束ねない。より線や延長コードの使用、タコ足配線はしない。(発熱や感電、火災の原因)
- ヒートポンプユニットは、屋内に設置しない。(万ー冷媒が漏れると、酸素不足の原因)
- ユニットの近くにガス類や引火物を置かない。(発火の原因)
- 湿気の多い場所に据え付けない。(感電や火災の原因)
- 据付けはお買い上げの販売店または専門業者に依頼する。(水漏れや感電、火災の原因、製品故障の原因)
- 据付工事は、付属品および指定の部品を使用し、据付説明書に従って確実に行う。(ユニットの転倒や水漏れ、感電、火災、やけどの原因)
- 据付けは、満水時の重量に十分耐える所に確実に行う。(ユニットの転倒によるけがの原因)
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、専用回路を使用する。(感電や火災の原因)
- 工事は配線用遮断器(ブレーカー)、貯湯ユニットの漏電遮断器を「OFF」にしてから行う。(電気部品に触れると感電の原因)
- 漏電遮断器の動作を確認する。(漏電のときに感電や火災の原因)
- 電源およびリモコンの配線は、所定の電線を用いて接続し、端子部に電線の外力が加わらないよう確実に固定する。(発熱や感電、火災の原因)
- 電源およびリモコンの配線は、閉鎖弁カバーなどが浮き上がらないよう電線を成形し、固定金具で確実に取り付ける。(端子部の発熱や感電、火災の原因)
- 上水道に直結する場合は、当該水道局の条例に基づき、認定水道工事業者が指定した配管材料を使用する。(配管が破裂して水漏れの原因)
- 貯湯ユニットとヒートポンプユニット各々にアース工事(D種接地工事)を確実に行う。アース線はガス管、水道管、避雷針、電話などのアース線に接続しない。(感電や火災の原因)
- ヒートポンプユニットの吸込口やアルミフィンに触らない。(けがの原因)
- 小動物のすみかになるような場所には据え付けない。(小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙、発火の原因) \*お客様に周辺をキレイに保つことをお願いしてください。
- 雨や雪が降ったとき、水たまりができて水につかるような所に据え付けない。(火災や感電の原因)
- 動植物に直接風が当たる所に据え付けない。(動植物に悪影響を及ぼす原因)
- 井戸水、地下水、温泉水は使用しない。(水は水道法の飲料水水質基準に適合した水道水を使用する)(故障や水漏れの原因)
- 貯湯ユニットの前板を外すときは強くにぎらない。(鋭利な板金によりけがの原因)
- 工事作業中は手袋を着用する。(けがの原因)
- 屋外で開梱する場合、風にあたらない安定した場所に仮置きする。(強風により製品が転倒する原因)
- 貯湯ユニットの脚をアンカーボルトで固定する。2階以上に据え付ける場合は、転倒防止金具で本体上部を固定する。(地震のとき、本体が倒れてけがの原因)
- 貯湯ユニットの排水工事、ヒートポンプユニットのドレン工事は、据付説明書に従って確実に排水するように配管する。(タンクを沸き上げるときの膨張水や、ヒートポンプユニットのドレン水で周囲が浸水し、家財などをぬらす原因)
- 製品が重いので、搬入・据付け時には注意する。(けがの原因)
- 床面は防水、排水処理工事を行う。(水漏れすると、大きな被害を及ぼす原因)
- 間接排水工事を行う。(タンクが破損し、水漏れの原因)
- 凍結防止対策(配管の保温工事、不凍結水栓、凍結防止ヒーターなど)を行う。(配管が破裂して水漏れややけどの原因)
- 排水トラップを設ける。(下水ガスが逆流して臭気が上がってきたり、本体や配管が腐食し損傷や水漏れの原因)
- 海岸地域など塩分が多い所は耐塩害・耐重塩害仕様機を使用する。(事故や故障の原因)
- 保温工事は確実に行う。(配管接触によるやけどの原因。凍結破裂で水漏れ、やけどの原因)

### 【その他ご注意】

- ガス機器からの取り替え時の注意。  
ガス機器から電気機器へ変更する際(ガス給湯器からヒートポンプ給湯機への取り替えなど)は、事前にガス事業者への連絡が必要になります。ガス事業者への連絡をせずに無断撤去することは法令により規制されておりますのでご注意ください。
- 貯湯ユニットは、必ず専用のヒートポンプユニットと接続する。
- 製品の上面には乗らない。(変形する原因)
- 電力契約は、時間帯別電灯または季節別時間帯別電灯で申請する。  
\*おひさまエコキュートの場合は、従来の夜間蓄熱型のエコキュートと電力契約が異なるため、電力契約については、ご契約される電力会社へお問い合わせください
- 電源の配線用遮断器(ブレーカー)は、すべての作業が終わるまで絶対に入れない。
- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用する。水道水

であっても硬度が特に高い地域など水質によっては、貯湯ユニットの寿命が通常より短くなることがあります。また、井戸水、地下水、温泉水は使用しないでください。ただし、弊社の水質基準を満たすことを確認し、使用を認めた場合に限り、ご使用いただけます。

- 太陽熱温水器の出湯を、給水に接続しない。
- ジェットバスでの使用時は、必ずお客様に取扱い上の説明を行う。ふろ自動運転中や追いだき運転中にジェットバスのご使用はできません。
- シングルレバー湯水混合栓および手元ストップシャワー、マッサージシャワーなどのシャワーヘッドを使用する場合は出湯量が少なくなる場合があります。
- 台所リモコンおよびサブリモコンは、浴室には取り付けない。

【付属品】 ★印の付属品は、工事完了まで大切に保管して、据付工事後、お客様にお渡しください。

- ★取扱説明書 ★据付説明書 ★保証書 ★遠隔操作シール ★非常用水ホース
- ヒートポンプ配管用高温パッキン(4個) ●ドレンソケット(寒冷地仕様を除く)
- アンカー補強プレート(角型のみ)